

ISSN 1880-1447

Journal of Traditional Medicines



Vol.26, Supplement, 2009
<http://www.wakan-iyaku.gr.jp/>

The 26th Annual Meeting of
Medical and Pharmaceutical Society
for WAKAN-YAKU

August 29-30, 2009
Makuhari Messe, Chiba

明日の和漢医薬学を創る（人材育成）



Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU



和漢医薬学会

Medical and Pharmaceutical Society for WAKAN-YAKU

第26回 和漢医薬学会学術大会

要旨集

会期／平成21年8月29日(土)・30日(日)

会場／幕張メッセ

会長／平井 愛山 (千葉県立東金病院)

主催／和漢医薬学会

日程表 8月29日(土)

	A会場 2F コンベンションホールA	B会場 2F コンベンションホールB	C会場 2F 201号室	D会場 3F 301号室	E会場 1F 101号室
8:00					
9:00	<p>開会式 8:40~8:45</p> <p>一般演題 8:45~10:00 プレナリーセッション口演(1) ◎座長 井上誠 清木育夫</p>	<p>一般演題 8:45~10:00 プレナリーセッション口演(2) ◎座長 柴原直利 松田久司</p>		<p>ポスター 9:00~13:00 貼出</p>	
10:00	<p>メインテーマ(2) 10:00~12:00 和漢医薬学(薬学系)の 人材育成 ◎オーガナイザー 鳥居塚和生 羽田紀康</p>	<p>メインテーマ(3) 10:00~12:00 和漢医薬研究者の育成 セッション-1 【生薬とデータベース】 ◎オーガナイザー 有田正規 田中謙 山崎真巳</p>			
11:00					
12:00	<p>ランチョンセミナー(1) 12:00~13:00 海からの贈り物: エイコサペンタエン酸(EPA)物語: EPAは抗炎症性“魚性生薬”である 共催: 持田製薬株式会社</p>	<p>ランチョンセミナー(2) 12:00~13:00 ①糖尿病腎症: その病態と治療 ②CKD患者における 漢方薬追加治療の効用 共催: 第一三共株式会社</p>			<p>評議員会 12:00~13:00</p>
13:00	<p>総会・授賞式 13:00~13:30</p> <p>学会賞受賞講演 13:30~14:15 ◎座長 野村靖幸</p> <p>学会奨励賞受賞講演 14:15~14:45 ◎座長 船忠人</p>	<p>市民公開講座 13:30~17:00 漢方で、みんなハッピーライフ ◎座長 寺澤捷年</p> <p>『こんな症状は漢方で治そう』 花輪壽彦</p> <p>『医者に頼らない生き方をしよう』 丁 宗鏡</p>		<p>ポスター 13:00~17:00 掲示</p>	
14:00	<p>シンポジウム1 14:45~17:45 和漢薬研究の最新の成果 (その1) 「モレキュラーと漢方 和漢薬研究に活かす 最先端技術」 ◎オーガナイザー 村松慎一 櫻井宏明</p>				<p>メインテーマ(3) 14:30~17:00 和漢医薬研究者の育成 セッション-3 — 実践セミナー — 『実験デザインのコツ』 『和漢医薬研究成果の 英文誌投稿のコツ』 : 実践編 ◎オーガナイザー 上野光一 堀江俊治</p>
15:00					
16:00					
17:00					
18:00			<p>懇親会 18:00~20:00 プレナリー セッション表彰</p>		
19:00					
20:00					

日程表 8月30日(日)

	A会場 2F コンベンションホールA	B会場 2F コンベンションホールB	C会場 2F 201号室	D会場 3F 301号室
8:00				
9:00	<p>メインテーマ(1) 9:00~12:00 和漢医薬学(医学系)の 人材育成(卒前・卒後)</p>	<p>メインテーマ(3) 9:00~12:00 和漢医薬研究者の育成 セッション2</p>		<p>ポスター 9:00~13:00 掲示</p>
10:00	<p>①『医学部卒前教育の課題と 今後の展望』 ②『医学部卒後教育のニーズと 課題』</p>	<p>①『学会奨励賞受賞者は語る』 ②『和漢薬研究者が語る 「創薬と育薬」』</p>	<p>シンポジウム2 10:00~12:00 和漢薬研究の最新の成果(その2) 「和漢薬研究から新たな 生薬資源の創出へ -遺伝子組換え技術が開く新たな地平-」</p>	
11:00	<p>◎オーガナイザー 並木隆雄 浅羽宏一</p>	<p>◎オーガナイザー 永井博弐 油田正樹</p>	<p>◎オーガナイザー 加藤弘巳 三沢典彦</p>	
12:00	<p>ランチョンセミナー(3) 12:00~13:00 食欲不振のメカニズムとその対策 ~漢方からのアプローチ~</p>	<p>ランチョンセミナー(4) 12:00~13:00 北海道の薬草栽培の歴史から 生薬資源を考える</p>	<p>ランチョンセミナー(5) 12:00~13:00 防風通聖散の抗肥満作用 ~食生活習慣改善併用と個別対応の重要性~</p>	
13:00	<p>共催：株式会社ツムラ</p>	<p>共催：小太郎漢方製薬株式会社</p>	<p>共催：小林製薬株式会社</p>	
14:00		<p>病院・開局薬剤師のための 漢方講座 13:30~16:30</p>		<p>ポスター 13:00~14:00 示説 ベストポスター表彰</p>
15:00	<p>シンポジウム3 14:00~16:00 和漢薬研究の最新の成果(その3) 「慢性腎臓病(CKD)と漢方」</p>	<p>◎オーガナイザー 三上正利 金成俊</p>		<p>ポスター 14:00~15:00 撤去</p>
16:00	<p>閉会式 16:00~16:05</p>			
17:00				

メインテーマ企画1

M 1

30日(日) 9:00~12:00
A会場
(2FコンベンションホールA)
◎オーガナイザー
並木隆雄
浅羽宏一

和漢医薬学(医学系)の人材育成(卒前・卒後)

①『医学部卒前教育の課題と今後の展望』

- M1-1-1 コアカリキュラム追加後の医学部卒前漢方教育の現状と問題点の背景
並木隆雄
千葉大学大学院医学研究院先端和漢診療学講座
- M1-1-2 医学部卒前教育の課題抽出のための資料提供
- 具体的カリキュラム作成上の課題
永田勝太郎
日本薬科大学統合医療教育センター
- M1-1-3 大学における漢方の現状：日本大学医学部における寄附講座の10年
木下優子
日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野
- M1-1-4 高知大学における学生・臨床系教員の漢方教育(実習)に関する意識調査
○浅羽宏一、松元かおり、北村聡子、武内世生、瀬尾宏美
高知大学医学部附属病院総合診療部
- M1-1-5 (P-090) 指定発言：九州大学医学部における漢方医学教育
○貝沼茂三郎、迎はる、海野麻美、古庄憲浩、林 純
九州大学病院総合診療科
- M1-1-6 東海大学医学部における東洋医学教育
○新井 信¹、日置智津子¹、荒井勝彦¹、高士将典^{1,2}
¹東海大学医学部東洋医学講座、²東海大学医学部付属大磯病院鍼灸治療室

総合討論 1

② 『医学部卒後教育のニーズと課題』

- M1-2-1 高知県内で初期臨床研修を行う研修医の漢方に関する意識調査
○浅羽宏一、松元かおり、北村聡子、武内世生、瀬尾宏美
高知大学医学部附属病院総合診療部
- M1-2-2 千葉大学における和漢診療学卒後教育と初期研修医による研修病院選択への影響
○並木隆雄、関矢信康、笠原裕司、地野充時、小川恵子、木俣有美子、来村昌紀、奥見裕邦、岡本英輝、植田圭吾、島津健吾、寺澤捷年
千葉大学大学院医学研究院先端和漢診療学講座
- M1-2-3 九州大学病院における漢方卒後教育の現状について
○貝沼茂三郎、澤山泰典、迎はる、海野麻美、古庄憲浩、林純
九州大学病院総合診療科
- M1-2-4 後期研修のための漢方連続講座
今津嘉宏
慶應義塾大学医学部漢方医学センター
- 総合討論 2

メインテーマ企画 2

M 2

29日(土) 10:00~12:00
A会場
(2FコンベンションホールA)
◎オーガナイザー
鳥居塚和生
羽田紀康

和漢医薬学（薬学系）の人材育成

- M2-1 コアカリキュラムと漢方医薬学 WS の提案
鳥居塚和生
昭和大学薬学部生薬学・植物薬品化学
- M2-2 富山大学における和漢医薬学教育
小松かつ子
富山大学和漢医薬学総合研究所
- M2-3 漢方薬学教育における中医学の有用性
牧野利明
名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野
- M2-4 薬学部における漢方教育の取り組み
岡村信幸
福山大学薬学部漢方薬物解析学研究室
- M2-5 追加発言：医師の立場から
新井 信
東海大学医学部東洋医学講座
- M2-6 追加発言：行政の立場から
吉田博之
文部科学省高等教育局医学教育課薬学教育専門官

メインテーマ企画3
セッション1

M3S1

29日(土) 10:00~12:00
B会場
(2FコンベンションホールB)
◎オーガナイザー
有田正規
田中 謙
山崎真巴

和漢医薬研究者の育成 (セッション-1)

『生薬とデータベース』

- M3S1-1 代謝物質マスマスペクトルデータベース MassBank
○蓬萊尚幸、二瓶義人、尾嵩雄也、池田奨、西岡孝明
慶應義塾大学先端生命科学研究所, JST-BIRD
- M3S1-2 生物種 - 代謝物関係データベース KNApSAcK : 世界の薬用植物由来の代謝物の悉皆的解析に向けて
○金谷重彦、高橋弘喜、平井晶、中村建介、Md.Altaf-UI-Amin
奈良先端科学技術大学院大学・情報科学研究科・情報生命学専攻
- M3S1-3 和漢薬データベースの構築
田中 謙
富山大学和漢医薬学総合研究所
- M3S1-4 和漢薬 Wiki データベースの開発
有田正規
東京大学大学院新領域創成科学研究科
(兼 理化学研究所植物科学研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所)

メインテーマ企画3
セッション2

M3S2

30日(日) 9:00~12:00
B会場
(2FコンベンションホールB)
◎オーガナイザー
永井博式
油田正樹

和漢医薬研究者の育成 (セッション-2)

① 『学会奨励賞受賞者は語る』

- M3S2-1-1 薬剤疫学と漢方薬の医薬品情報
赤瀬朋秀
済生会横浜市東部病院薬剤部 (受賞時: 日本医療伝道会衣笠病院薬剤部)
- M3S2-1-2 基礎研究, まずは漢方薬から試してみよう
磯濱洋一郎
熊本大学大学院医学薬学研究部・薬物活性学分野 (受賞時: 熊本大学薬学部薬理学研究室)

② 『和漢薬研究者が語る「創薬と育薬」』

- M3S2-2-1 株式会社ツムラ ツムラ研究所
- M3S2-2-2 独立行政法人 農研機構 近畿中国四国農業研究センター
富士フレイバー株式会社
- M3S2-2-3 タカラバイオ株式会社 バイオ研究所
- M3S2-2-4 クラシエ製薬株式会社 評価・分析センター

メインテーマ企画3
セッション3

M3S3

29日(土) 14:30~17:00
E会場 (1F 101号室)
◎オーガナイザー
上野光一
堀江俊治

和漢医薬研究者の育成(セッション-3) - 実践セミナー -

M3S3-1 はじめに
堀江俊治
城西国際大学薬学部薬理学講座

『実験デザインのコツ』

M3S3-2 化学研究デザイン塾
創薬をリードする新しい機能性天然分子の発見と創製を目指して
高山廣光
千葉大学大学院薬学研究院

M3S3-3 薬理研究デザイン塾
漢方薬の作用の科学的根拠を見いだす動物実験
岩崎克典
福岡大学薬学部臨床疾患薬理学教室

M3S3-4 臨床研究デザイン塾
○小林裕美、鶴田大輔、田宮久詩、柳原茂人、中西健史、水野信之、石井正光
大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学

『和漢医薬研究成果の英文誌投稿のコツ：実践編』

M3S3-5 レフェリーの立場から：レフェリーが注目する点
松本欣三
富山大学和漢医薬学総合研究所複合薬物薬理学分野

M3S3-6 投稿者の立場から：和漢薬研究で国際雑誌の高い壁を乗り越えるには
中村智徳¹、松本健次郎²
¹群馬大学大学院医学系研究科臨床薬理学分野、²城西国際大学薬学部薬理学講座

M3S3-7 まとめ
上野光一
千葉大学大学院薬学研究院

学会賞講演

29日(土) 13:30～14:15
A会場
(2FコンベンションホールA)
◎座長／野村靖幸

腎疾患治療薬の開発研究

横澤隆子
富山大学和漢医薬学総合研究所

学会奨励賞講演

29日(土) 14:15～14:45
A会場
(2FコンベンションホールA)
◎座長／谿 忠人

当帰芍薬散とエストロゲンの共通点と相違点について

鄭 美和
国立医薬品食品衛生研究所生薬部

**更年期頻用漢方薬の閉経モデルマウスを用いた
安全性及び有効性の評価
(子宮重量及び内膜厚解析、温経湯のSERM様作用解析)**

渡辺浩二
北里大学東洋医学総合研究所臨床研究部

脳卒中発症関連タンパク質の探索と漢方薬の効果

中田千鶴
富山大学和漢医薬学総合研究所病態生化学分野（研究時の所属）

**一般演題プレナリー
セッション口演1**

29日(土) 8:45～10:00
A会場
(2FコンベンションホールA)
◎座長／井上 誠
濱木育夫

発表者は本大会ホームページに掲載いたします。

**一般演題プレナリー
セッション口演2**

29日(土) 8:45～10:00
B会場
(2FコンベンションホールB)
◎座長／柴原直利
松田久司

シンポジウム1

S1

29日(土) 14:45~17:45
A会場
(2FコンベンションホールA)
©オーガナイザー
村松慎一
櫻井宏明

和漢薬研究の最新の成果 (その1)

「モレキュラーと漢方
和漢薬研究に活かす最先端技術」

- S1-1 和漢薬のニュートリゲノミックス
香川靖雄
女子栄養大学医化学研究室
- S1-2 理研天然化合物バンクにおけるケミカルバイオロジー
長田裕之
理研基幹研究所 ケミカルバイオロジー研究領域
- S1-3 ヒト腸内細菌叢の高速ゲノム解析
服部正平
東京大学大学院新領域創成科学研究科
- S1-4 ヒト多能性幹細胞 (ES 細胞、iPS 細胞) の創薬利用
近藤 靖
田辺三菱製薬株式会社 先端医療研究所 再生医療グループ
- S1-5 Cancer Cell Informatics による化合物の分子標的予測:
その方法論と分子標的薬開発への応用
矢守隆夫
財団法人癌研究会 癌化学療法センター分子薬理部

シンポジウム 2

S 2

30日(日) 10:00~12:00
C会場 (2F 201号室)
◎オーガナイザー
加藤弘巳
三沢典彦

和漢薬研究の最新の成果 (その2)

「和漢薬研究から新たな生薬資源の創出へ
- 遺伝子組換え技術が開く新たな地平 -」

- S2-1 はじめに
平井愛山
千葉県立東金病院
- S2-2 和漢薬と現代内分泌学の接点
- グリチルリチン研究が明らかにしたもの -
加藤弘巳
社会保険高岡病院糖尿病センター
- S2-3 テトラテルペン (カロテノイド) を始めとするテルペン系生合成遺伝子群の解明および遺伝子組換え作物の作出と展望
三沢典彦
キリンホールディングス株式会社 フロンティア技術研究所
- S2-4 甘草の市場と分子育種
須藤 浩
株式会社常磐植物化学研究所
- S2-5 トリテルペンサポニン生合成遺伝子の解明と医薬品開発への応用
渋谷雅明
東京大学大学院薬学系研究科

シンポジウム 3

S 3

30日(日) 14:00~16:00
A会場
(2FコンベンションホールA)
◎オーガナイザー
上田志朗
横澤隆子

和漢薬研究の最新の成果 (その3)

「慢性腎臓病 (CKD) と漢方」

- S3-1 今、なぜ慢性腎臓病 (CKD) なのか?
斎藤知栄、山縣邦弘
筑波大学大学院人間総合科学研究科腎臓病態医学分野
- S3-2 糖尿病性腎症における漢方方剤の解明
横澤隆子
富山大学和漢医薬学総合研究所
- S3-3 慢性腎炎・腎硬化症への漢方方剤の運用と基礎的検討
○小野孝彦¹、牧野利明²
¹市立島田市民病院漢方内科・腎臓内科、²名古屋市立大学大学院薬学研究科生薬学分野

市民公開講座
29日(土) 13:30～17:00
B会場
(2FコンベンションホールB)

「漢方で、みんなハッピーライフ」

座長 寺澤捷年

千葉大学大学院医学研究院和漢診療学講座

1. こんな症状は漢方で治そう

花輪壽彦

北里大学東洋医学総合研究所

2. 医者に頼らない生き方をしよう

丁宗鐵

日本薬科大学漢方治療学分野

3. 総合討論

寺澤捷年 (司会)

花輪壽彦

丁宗鐵

病院・開局薬剤師のための
漢方講座

30日(日) 13:30~16:30
B会場
(2FコンベンションホールB)
◎オーガナイザー
三上正利
金成俊

病院・開局薬剤師のための漢方講座

オープニングリマーク

平井愛山

千葉県立東金病院

1. 漢方診療担当医師から薬剤師へ期待するもの

笠原裕司

千葉大学大学院医学研究院先端和漢診療学講座

2. 院外処方箋による漢方調剤の現状

池方香里

株式会社メディカルファーマシーミキ調剤薬局

3. 大学附属病院にける漢方薬の病棟管理

中川洋子

富山大学附属病院薬剤部

4. 開局薬局における漢方相談の意義と課題

岩浪 登

岩浪薬局

5. 漢方専門病院における生薬の品質管理及び煎剤の調剤

坂田幸治

北里大学東洋医学総合研究所薬剤部

6. 追加発言：漢方に薬剤師の果たす役割

三上正利

日本薬剤師会薬局製剤漢方委員

プログラム ランチョンセミナー

ランチョンセミナー1

LS 1

29日(土) 12:00～13:00
A会場
(2FコンベンションホールA)
座長／寺野 隆

海からの贈り物：エイコサペンタエン酸 (EPA) 物語： EPA は抗炎症性“魚性生薬”である

丸山征郎

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科血管代謝病態解析学

共催：持田製薬株式会社

ランチョンセミナー2

LS 2

29日(土) 12:00～13:00
B会場
(2FコンベンションホールB)
座長／小野孝彦

1. 糖尿病腎症：その病態と治療

今田恒夫

山形大学医学部内科学第一（循環・呼吸・腎臓内科学）講座

2. CKD患者における漢方薬追加治療の効用

村田一知朗

岐阜大学医学部附属病院腎臓内科

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー3

LS 3

30日(日) 12:00～13:00
A会場
(2FコンベンションホールA)
座長／横須賀 収

食欲不振のメカニズムとその対策 ～漢方からのアプローチ～

武田宏司

北海道大学大学院薬学研究院医療薬学分野臨床病態解析学

共催：株式会社ツムラ

ランチョンセミナー4

LS 4

30日(日) 12:00～13:00
B会場
(2FコンベンションホールB)
座長／服部征雄

北海道の薬草栽培の歴史から生薬資源を考える

山岸 喬

北見工業大学、国際交流センター

共催：小太郎漢方製薬株式会社

ランチョンセミナー5

LS 5

30日(日) 12:00～13:00
C会場 (2F 201 号室)
座長／秋葉哲生

防風通聖散の抗肥満作用 ～食生活習慣改善併用と個別対応の重要性～

並木隆雄

千葉大学大学院医学研究院先端和漢診療学講座

共催：小林製薬株式会社

優秀発表賞

《プレナリーセッション 口演》

長戸 康和	東海大学医学部基礎医学系	乳酸オリゴ縮合物の癌転移抑制効果増強作用
竹野 伸洋	富山大学和漢医薬学総合研究所病態生化学分野	がんワクチン療法における十全大補湯併用による効果の検討
条 美智子	富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学部門	食塩負荷片腎摘出ラットに対する五苓散の影響
関谷 敬三	独立行政法人農研機構近畿中国四国農業研究センター	脂肪細胞分化を促進する生姜成分
東田 道久	富山大学和漢医薬学総合研究所複合薬物薬理学分野	和漢処方によるBNIP-3mRNA発現上昇と抗うつ作用との関連性に関する検討
片岡 愛子	福岡大学薬学部臨床疾患薬理学	ヤマブシタケの繰り返し投与による脳保護効果の解明
柴原 直利	富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学部門	「水滯」と平衡機能との関連性について
横井 寛	愛知学院大学薬学部薬用資源学	ヨクイニン含有11-hydroxy-(9Z)-octadecenoic acid のPPAR α agonist活性の解析
山本 武	富山大学和漢医薬学総合研究所消化管生化学分野	食物アレルギー病態モデルにおける葛根湯による制御性T細胞への分化亢進を介する腸管粘膜
岡田 英孝	大阪大学薬学研究科薬用資源学分野	Taraxacum属生薬の品質評価:セルフメディケーション活用のために
堀江 一郎	熊本大学大学院医学薬学研究部薬物活性学分野	ケラチノサイトの水チャネルaquaporin-3の発現を増加させる生薬の探索研究
早崎 知幸	北里大学東洋医学総合研究所	当帰芍薬散料投与者の遺伝子発現解析による大和当帰等級の薬効比較